

第3回世界平和連帯都市市長会議 サクラメント決議

第3回世界平和連帯都市市長会議理事会に参集した我々は、1991年10月14日から16日まで、アメリカ合衆国サクラメント市において現在の国際情勢を踏まえ、我々市長会議の取り組むべき方針について、多角的な角度から活発な意見交換を行った。

東西冷戦構造の崩壊、それに続くソ連及び東欧諸国の政治・経済体制の変容など国際情勢は、歴史的な転換を成し遂げた。

とりわけ核兵器を巡る国際情勢が、最近の米ソ両国による核軍縮により、画期的な進展の兆しを見せていることは一定の評価をすべきことである。

しかしながら、一方では、人類を破滅に導く核兵器は依然としてこの地球上に存在し、かつまた、平和を阻害する要因として環境問題、飢餓、貧困、難民、人権抑圧などの諸問題があり、我々はその緊急な解決を迫られている。

こうした状況を踏まえ、我々は核保有国に対し、直ちに核実験を全面的に禁止し、核兵器全廃に向けて一層の努力をするよう求めるとともに、人類の平和を阻害する要因についても都市レベルでその解決に向けて積極的に国際世論の喚起に努める。

また、我々は、1982年、都市連帯推進計画を提唱し、長年にわたりその推進に多大な尽力をされた荒木武前広島市長の御功績を高く評価するとともに、都市連帯の一層の発展に努める。

1991年10月16日

世界平和連帯都市市長会議

会長	日本	広島市長	平岡 敬
副会長	イタリア	コモ市長代理	パオロ・フリソニ
副会長	ドイツ	ハノーバー市長	ヘルベルト・シュマルステーク
副会長	日本	長崎市長	本島 等
副会長	アメリカ	サクラメント市長	アン・ルーディン